荒尾市地域公共交通利便増進実施計画における検討内容について

◆荒尾市地域公共交通計画の目指す目標

計画目標① 公共交通全体の利用者数の維持向上

計画目標② 「スマート」な移動環境構築

計画目標③ 公共交通間連携によるサービス改善

計画目標4 自家用車に依存しない、楽しいお出かけの促進

◆策定方針:実証やシミュレーションを行いながら計画作成

効率化 乗合タクシーの運行 おもやいタクシーと

- おもやいタクシーと乗合タクシーの合計の年間利用者数を、 R4実績値17,801人からR9 目標値26,000人/年(約1.4倍)とす ることを目標としている
- 利用者の利便性を一定程度維持しつつ、数値目標を達成する ための運行体制について、<u>複数の将来イメージを基にシナリ</u> オを設定し、シミュレーションで検討する
- <u>商業や健康づくり施設と連携し、お出かけを促す情報とセットで公共交通に関する情報やお得なチケット等(運賃施策で検討)を配信</u>するなど(おでかけあらおアプリ等の活用)、お出かけの目的地と移動手段の連携を検討する
- 特に、**行動変容(自家用車→公共交通)を促す、効果的な運 賃施策や情報配信タイミング等を検証**し、結果を基に<u>恒常的</u> **に実施できる施策を検討**する(持続可能性と利用促進のバランスを考慮)





◆目標を実現するために実施する事業の実施計画=利便増進実施計画

おもやいタクシーと乗合タ クシーの運行効率化 ● 市内を運行するおもやいタクシー の運行充実と乗合タクシーの効率 化の両立に関する検討を行う

運賃施策の検討1:通学定期 券の検討 ● 荒尾玉名線の通学利用促進のため、 交通事業者及び沿線自治体と連携 して新たな定期券について企画し、 導入に向け移動需要と収入額を考 慮した最適な価格設定・サービス 内容を検討する

一色色の食み

運賃施策の検討2:交通モー ド横断の運賃施策の検討 ● 買い物や健康づくりを目的とした 移動に対し、モビリティマネジメント施策と相乗効果が期待できる 施策を検討し、路線バスとおもや いタクシーなどを組み合わせた運 賃施策の導入を合わせて検討する

運賃施策の検討3:福祉特別 乗車証の I Cカード化検討 ● 福祉特別乗車証について、IC カード化にあわせ、適切な受益者 負担に係る試算を行う。現行の 「100円/回均一」と考え得る割引 案についていくつかのパターンで 試算する

M

モビリティマネジメントの 実施施策検討

- 商業・健康等、移動目的を絞り、 買い物客や高齢者の行動変容を促 す利用促進策について、具体的な 実施内容について検討する
- ◆特に、モニターを募り、テストマーケティングの実証を行い、実施の具現化を行う
- 免許返納を考えている高齢者や若年層に向けた公共交通利用促進策について、より具体的な実施内容を検討する

荒尾市地域公共交通利便増進計画の策定スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和6年度当初
おもやいタクシーと乗 合タクシーの運行効率 化シミュレーション/ 公共交通ネットワーク の検討	シミュ レーショ ンシナリ オ検討			率化 トワークの 議の実施		じて)						
運賃施策の検討		①通学定期 検討案の作 ②交通モー 検討案の作 ③福祉特別 検討案の作	が ・ド横断の ・成 ・関係 ・成 ・関係	を	・実証	実施内容		検証 ・実施内容 <i>0</i>)確定			
モビリティマネジメン ト(MM)の 実施施策検討		①商業施設 検討案の 作成 ②健康づく 検討案の 作成	関係者間	協議と連携した	周知 MM 検記 周知	けした施策 [。] 施	策実施	アップ・実施 ・実施 検証 (内容の確定			
利便増進実施計画の策 定				利便均	曾進実施施	策の立案			計画領	策定):[国へ認定申請
協議会の実施		協議会				レーション 協議	′結果	ļ->	協議会 ③ 字証結果計画素案	の承認		-> 協議会 計画案の承認